

【ビジネス科】 観光ビジネス選択者 3年生

名古屋文理大学出前授業「観光ビジネスにおける観光振興立案」について

令和7年6月18日（水）5限目

名古屋文理大学客員教授 世良 清先生
にお越しいただき「観光ビジネスにおける
観光振興立案について」のテーマで講習会
を行いました。



「観光ビジネス」は昨年度からの新科目で
全フィールド選択者の75名が、12月に
行われるマーサ21での「達人カップ」や

「フェニックス」での販売実習に向けて、大学の先生からたくさんのヒントを得ることができました。昨年度は、「地域の活性化と観光まちづくり」ということで、地元の観光案内をPOWER POINTを使用して17作品をグループで作成し、審査員特別賞を受賞しました。今年度はどのようなアプローチで集客をすべきか、地元の魅力商品をPRするにはどんな方法が有効かについて本日の講話を参考にアイデアを考えていきたいと思います。

【生徒の感想】

・お話を聞いて観光振興をするためには長い時間がかかるのだと思いました。学習の中で商品のパッケージを作る時間があり、その時に他の商品と似たようなデザインにならないよう考えるのがとても難しかったので、高校生がお茶の商品を作る話を聞き、すごいと思いました。また、商標登録では名前などの文字やロゴだけでなく、色にも関係することや空き店舗での販売に意味があることを初めて知り、将来へ生かせるように覚えていきたいです。観光振興について大事なことを学ぶよい機会になりました。

・商品を売るときに大事なのはたくさん売れて、お金がたくさん入るのも大事だけど、地元、地域を盛り上げるのも大事ということを知った。他にも商品開発はただ「もの」をつくるのではなく、アイデアを作るということを知って、確かに「もの」を作るのだから簡単だけれども、そこにどのようなデザインにしたらいいか、どのくらいの金額にしたらいいかなどのアイデアがないと競合他社に負けてしまうと思うから、この言葉にはとても納得した。地元・地域を盛り上げるには昔ながらのものを再開発して商品化することが大切だということも分かった。

